

□令和6年能登半島地震に係る避難状況調査集計結果【令和6年7月 防災安全課】

○調査内容

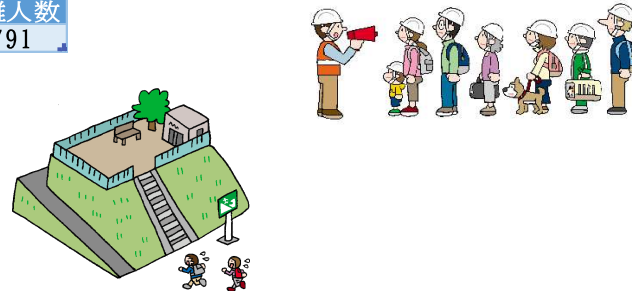
- ・ 調査期間： R6.1.10(水)～1.25(木)
- ・ 調査方法： 対象地域区長文書にて回覧板で周知
QRコードによるインターネット回答、又は紙回答(区長回収)
- ・ 調査対象： 津波避難指定地域(沿岸部の海拔5m以下の地域、28区)
上記以外地域の区長及び自主防災会長
- ・ 対象世帯： 2,459 世帯
- ・ 回答数： 718 世帯 回答率： 29%

○調査対象地区集計

調査区	調査数	回答数	回答率	避難数	避難率	避難人数
28	2,459	715	29%	453	63%	1,791

※回答数差3世帯は地区不記載

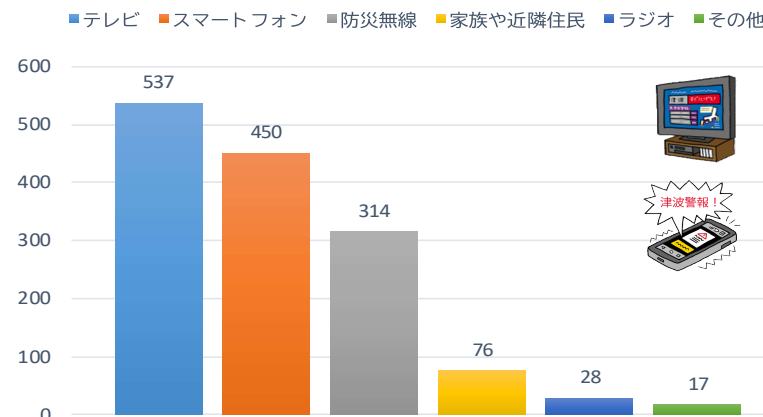
地区	多かった避難場所
高浜地区	中央球場・体育館、佐伎治神社
和田地区	安土山、けいあいの里
青郷地区	JR三松駅、脇坂公園、ハーバルビレッジ
内浦地区	旧音海小中学校、旧神野小学校



○地震発生時・避難時の情報源【複数回答可】

- ・ テレビ 537 38%
- ・ スマートフォン 450 32%
- ・ 防災無線 314 22%
- ・ 家族や近隣住民 76 5%
- ・ ラジオ 28 2%
- ・ その他 17 1%
- 計 1,422

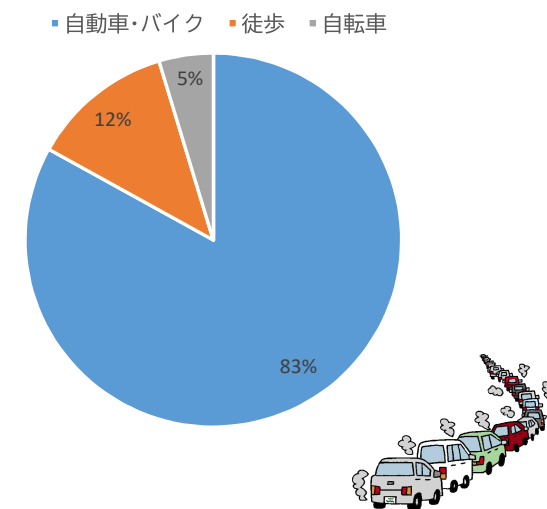
- 自宅ではテレビ、屋外や車内、避難所では防災無線やスマホからの情報入手が主となる
- 防災無線を補完する情報伝達ツールが必要



○避難の手段

- ・ 自動車・バイク 83%
- ・ 徒歩 12%
- ・ 自転車 5%
- 計 100%

- 原則、徒歩避難を勧めているが、現状は自動車による避難がほとんどである
- 避難場所の分散化や避難経路の複線化が必要
- 強震度の場合の道路損壊や、家屋倒壊による道路閉鎖が懸念される

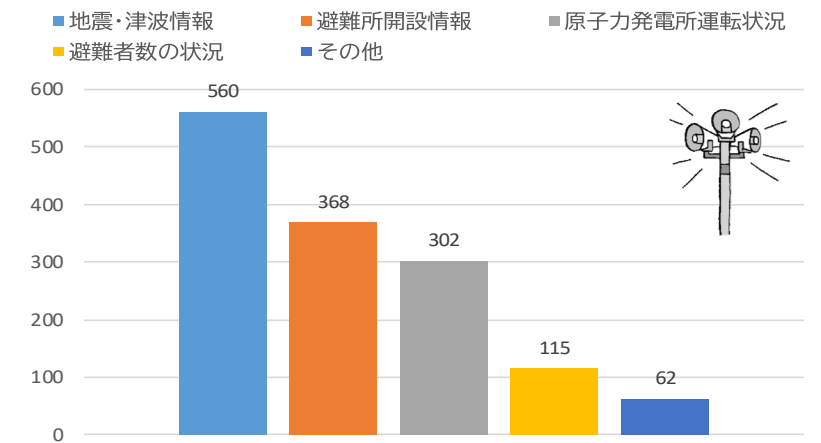


◆令和6年1月1日に発生した「能登半島地震」の際、町内の避難状況調査を行った結果を集計し、分類・分析を行い、今後の具体的施策としてまとめましたので、ご確認ください。

○避難所において必要な情報【複数回答可】

- ・ 地震・津波情報 560 40%
- ・ 避難所開設情報 368 26%
- ・ 原子力発電所運転状況 302 21%
- ・ 避難者数の状況 115 8%
- ・ その他 62 4%
- 計 1,407

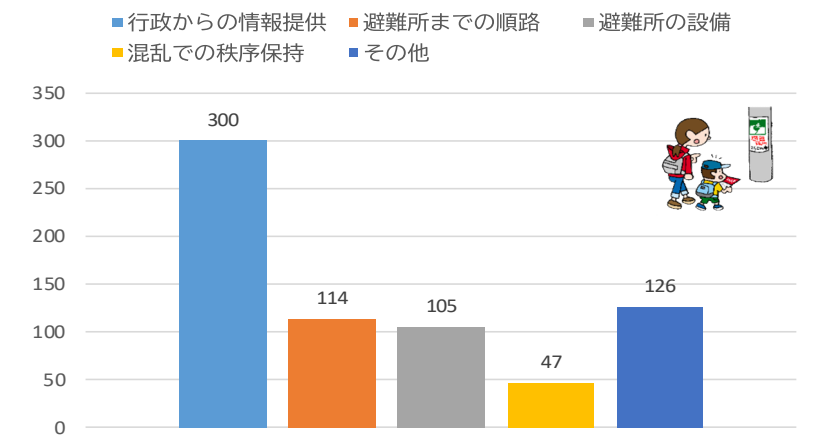
- 災害情報や経過、避難所状況のほか、原子力発電所の運転状況も求められる



○避難時の課題【複数回答可】

- ・ 行政からの情報提供 300 43%
- ・ 避難所までの順路 114 16%
- ・ 避難所の設備 105 15%
- ・ 混乱での秩序保持 47 7%
- ・ その他 126 18%
- 計 692

- 行政からの詳細・適時の情報提供が求められる
- 情報伝達の効率化、手段の多重化が必要

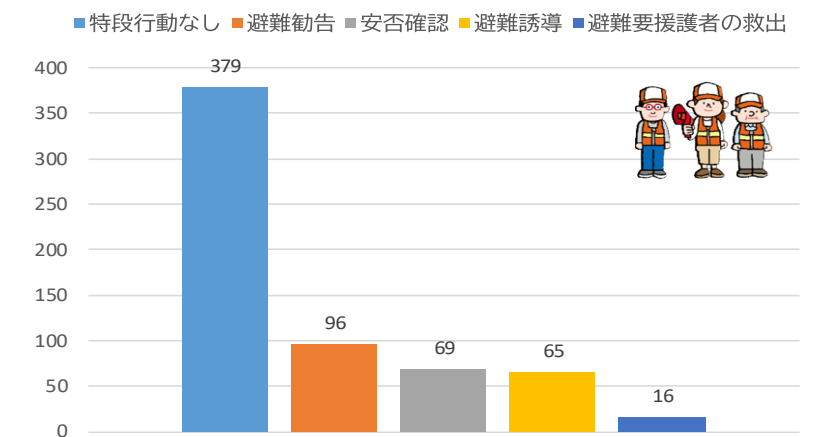


○自主防災組織の行動【複数回答可】

- ・ 特段行動なし 379 61%
- ・ 避難勧告 96 15%
- ・ 安否確認 69 11%
- ・ 避難誘導 65 10%
- ・ 避難要援護者の救出 16 3%
- 計 625

- ・ 自主防災組織なし 90

- 各自主防災組織の初期活動ができない現状がある
- 未設立地区の組織化への啓発が必要



中央体育施設避難状況

□町民意見の分類・分析、対応策の検討

No.	分類	件数
①	自助意識	117
②	情報伝達	105
③	避難所機能	49
④	共助活動	49
⑤	避難場所	46
⑥	行政機能	33
⑦	要支援者	29
⑧	避難道路	28
集計		456

※代表的なご意見を抽出しました
※具体的施策の「◎」は既に取り掛かっている事業を示します

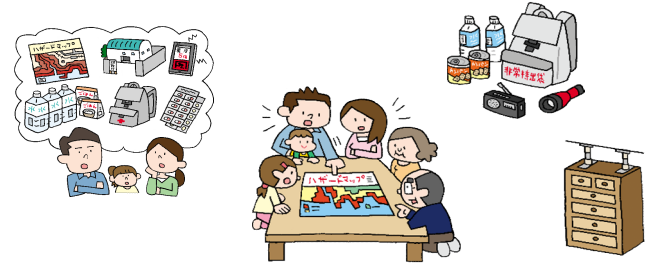


①自助意識(117件)

- ・自分の身は自分で守らないといけないと痛感した
- ・大きな災害は起きない思い込みで生活していると実感した
- ・自分の住む場所の標高や浸水予想の各自の理解が必要
- ・何を持って避難すればよいかわからなかった
- ・家屋の耐震補強などの補助金について知りたい

具体的施策

- ⇒広報紙などで防災意識の向上を図ります◎
- ⇒海拔高さ、想定浸水区域の掲示を進めます
- ⇒緊急避難用品や家具耐震対策への支援策を検討します
- ⇒木造住宅耐震化の促進を図ります◎

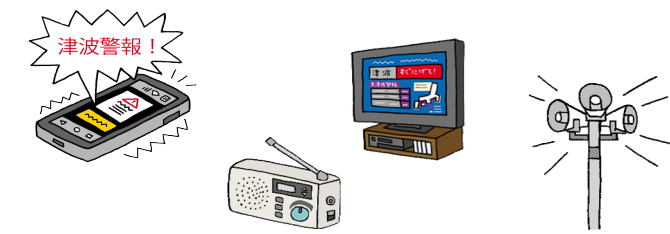


②情報伝達(105件)

- ・津波の襲来状況や高さ、避難解除などが分からなかった
- ・避難すべき対象地区、避難できる場所について案内が必要
- ・車中で避難待機していたが何の情報も得られなかった
- ・舞鶴に居たため、高浜町の様子が分からなかった
- ・観光者など町外者は高台がどこかわからない
- ・原子力発電所の運転状況などを知りたい

具体的施策

- ⇒防災アプリで屋外・避難所・町外への情報配信を進めます◎
- ⇒防災アプリ内で防災や避難情報の集約化を進めます◎
- ⇒海岸監視用カメラを設置し津波情報を収集します◎
- ⇒緊急時の情報発信内容をテンプレート化します
- ⇒多様なメディアで配信できる仕組みを作ります◎



③避難所機能(49件)

- ・毛布のほかストーブや携帯カイロがあるとよい
- ・車椅子がなく車から降りることができなかった
- ・トイレや駐車場のある公園等を避難場所に指定してはどうか
- ・避難施設のない駐車場にも毛布や防災物資が必要である
- ・原発事故との複合災害時は避難困難となりシェルターが必要

具体的施策

- ⇒緊急時避難場所に防災倉庫設置と物資備蓄を進めます
- ⇒避難施設の備蓄物資内容の再検証を進めます
- ⇒拠点防災倉庫を整備し、必要物資を保管管理します
- ⇒避難時に地域防災組織と連携する仕組みを作ります
- ⇒公園や球場などのトイレ洋式化や照明整備を進めます



④共助活動(49件)

- ・改めて自主防災組織の意義や役割の大切さを痛感した
- ・高齢者等要支援者への声かけが不十分だった
- ・普段から避難訓練をしていないと具体的に行動できない
- ・自主防災組織で訓練していたのに動けなかった

具体的施策

- ⇒自主防災組織主体の避難訓練を実施します◎
- ⇒活動補助金で避難啓発品やチラシ配布を進めます◎
- ⇒地区ごとの地形や地域特性を共有します

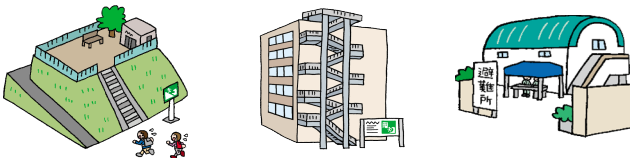


⑤避難場所(46件)

- ・津波時に避難できる高台が少ない（高浜地区・和田地区）
- ・高台避難場所にも休憩施設などの建物が必要
- ・民間施設と提携し避難所協力を求めてはどうか
- ・自家用車での避難が多く、駐車場がなく避難に支障がでる
- ・中央球場も避難駐車場として最初から開放して欲しい

具体的施策

- ⇒津波緊急避難場所の再設定を進めます
- ⇒避難場所の駐車規模やトイレなどの施設内容を明示します
- ⇒避難ビルとして民間事業者の協力について協議します◎
- ⇒緊急時避難場所の運営要領を更新します



⑥行政機能(33件)

- ・平日だと役場からの情報も早いのが休日だと情報が遅い
- ・避難誘導者がおらず車内でずっと待機していた
- ・現実的な避難訓練の実施をすべき
- ・消防団や防犯隊との連携がなかった

具体的施策

- ⇒防災アプリ職員参集機能で、効率的な人員配置を進めます◎
- ⇒職員初動や避難所開設マニュアルを整備します
- ⇒津波避難を想定した職員初動訓練を実施します



⑦要支援者(29件)

- ・高齢者や障がい者がいる場合や一人の場合、簡単に避難できない
- ・高齢者世帯の安否確認等をどのようにするか決める必要がある
- ・近所の独居老人に声掛けして一緒に避難することができた
- ・高齢者避難は指定避難場所以外でも臨機応変に対応すべき

具体的施策

- ⇒要支援者避難計画、個別計画の作成を進めます◎
- ⇒近場の高台避難場所の確保を検討します
- ⇒避難所における要支援者への配慮措置を検討します

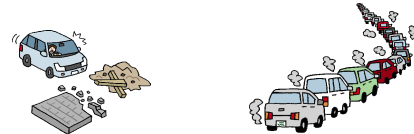


⑧避難道路(28件)

- ・自動車での避難したが、国道が混雑し避難場所まで行けなかった
- ・各区内で避難路線や経路を話し合うべき
- ・中央体育館への経路が文化会館口のみで、混雑し避難が遅れる
- ・安土山へは一本道で大勢が避難したため道路が混雑した
- ・内浦地区は地震の際、土砂崩れにより道路が寸断され孤立する

具体的施策

- ⇒津波緊急避難場所の再設定を進めます(再)
- ⇒道路の強靱化や複線化に向けた整備を進めます◎
- ⇒避難時防護対策について国・県と協議します



◆今回の能登半島地震の際の避難行動を事例として、今後、津波避難に対応する具体的施策を進めてまいります。

◆町民の皆さんには、自助意識による各自の避難場所の確認や避難用品の準備、日頃からの情報収集を、よろしくお願いいたします。

防災安全課 Tel.72-7701

□避難所で必要とする物資【314件、複数回答可】

No.	%	必要物資
1	34%	飲料水（ペットボトル入り）
2	27%	毛布（季節的傾向、敷物兼用）
3	18%	食料（非常食、簡易食品）
4	15%	トイレ（常設、簡易トイレ、トイレトーパー）
5	13%	空調暖房（季節的傾向、カイロ等簡易暖房、夏季は扇風機）
6	8%	仕切り板（段ボール、パーティション、簡易テント）
7	8%	発電機（多用途使用、充電・照明・調理）
8	8%	敷物（マット類）
9	5%	ベッド（簡易休息、椅子替わり）
10	4%	照明（駐車場内、避難場所周辺）
他		車椅子、充電器、テレビ

